

# 施策評価(平成29年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	1	未来につなぐ環境都市の実現
施策	23	自然環境
基本方針		
人と自然と生物が調和しながらめぐる、うるおいのあるまちを目指します。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">自然環境学習の充実</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">自然環境の保全と再生</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価の結果

<p>施策23「自然環境」では、2事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策23「自然環境」については、取組内容は順調に推移している。</p> <p>今後の方向性については、実施計画に掲げた取組みを継続的に推進していくこととし、すべて「現状のまま継続」していくこととする。</p>
--

1.基本項目

事業名	作成部署		産業環境部			環境保全課
	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 自然環境学習の充実		年 期間設定10年	自治事務(市独自)		○	
01 環境教室(講師謝礼)	不明	年 期間設定10年	自治事務(市独自)	直営		
02 環境フェスティバル事業助成金	平成 24年	期間設定10年	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
03 羽村×八丈エコ教室実行委員会補助金	平成 26年	期間設定10年	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標 4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	23	自然環境	重点事業No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	人と自然と生物が調和しながらめぐる、うるおいあるまちを目指します。
事業内容	自然環境を保全する意識の高揚を図るため、水、土、みどりや生物多様性などの自然の重要性に関する理解を深めるための学習を充実させます。
根拠法令	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
条例	羽村市環境基本条例
要綱等	環境とみどりの基本計画～環境・みどり・生物多様性を包括的に進めるはむらプラン～

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	水辺観察会 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	みどりの環境教室 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	環境フェスティバル 参加者数 3,600人	同左 参加者目標数 3,700人	同左 参加者目標数 3,700人	同左 参加者目標数 3,700人
	羽村×八丈エコ教室 参加者数 29人	同左 参加者目標数 29人	同左 参加者目標数 29人	同左 参加者目標数 29人

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	730 H	2人	476 H	2人	476 H	2人	476 H
主事・主任職	3人	301 H	2人	369 H	2人	369 H	2人	369 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	2,920	7,160	7,188	7,188
人件費(係長職)	3,632	4,737	4,737	4,737
人件費(主任・主事職)	3,070	2,509	2,509	2,509
総事業費(合計)	9,622	14,406	14,434	14,434
国庫支出金				
都支出金	20	20	48	48
受益者負担額				
その他特定財源		4,032	4,060	4,060
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	9,602	10,354	10,326	10,326
財源内訳(合計)	9,622	14,406	14,434	14,434

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	257	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果(物)		の 出来高		円
※ 対象者:				円

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

第6回環境フェスティバルは「エコロジ(路地)ー」をテーマに、会場をゆとろぎ前道路に集約、メインステージをゆとろぎ交流広場とし、集約による賑わい、みどりの路地に見立てた装飾による事業の充実を図り、出展者・来場者ともに高い評価を得られた。

羽村×八丈エコ教室は、現地体験事業の直前まで滞りなく進行したが、台風の影響で船舶が欠航したため、やむを得ず中止し、地産地消食材を用いた飯盒炊爨と映像学習を羽村第一中学校にて代替え実施した。  
水辺観察会及びみどりの環境教室は予定どおり実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	7,160	0	7,160	3,184	44.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	476 H	2人	476 H
主事・主任職	2人	369 H	2人	369 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○水辺観察会 1回 ○みどりの環境教室 1回 ○環境フェスティバル参加者数 3,600人 ○羽村×八丈エコ教室参加者数 29人	⇒                     ○水辺観察会 1回 ○みどりの環境教室 1回 ○環境フェスティバル参加者数 3,800人 ○羽村×八丈エコ教室参加者数 30人

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

基本方針は「人、自然及び生物の調和、生態系保全」であるが、これを進めるためには市域の全ての主体が意識し、取り組まなければならない。このため、本事業は自然環境を保全する意識の高揚を図る内容となっており、事業の進捗を図るための参加者アンケートにおいては高い評価が得られており、今後更なる推進が必要である。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

環境フェスティバルは、同様のイベントを他自治体でも多く行っており、いずれの自治体においても来場者の数には課題を残していることから、他の事業との共同開催等について検討していく。

【今後の取組方針】

参加者のニーズを捉え、自然と生物への理解が深まる事業として引き続き実施していく。羽村×八丈エコ教室は、連携組織の強化のため、他自治体の参画を模索するとともに、代替え行程を計画に含めるよう改善して実施していく。

1.基本項目		作成部署	産業環境部			環境保全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 自然環境の保全と再生		昭和 60年	その他	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	○
01	樹林地および樹木の保存に関する助成	昭和 60年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成	
02	樹林地管理ボランティアの支援	不明	年 その他	自治事務(市独自)	その他	
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	23	自然環境	重点事業No. 4

2.事業の概要

施策の基本方針	人と自然と生物が調和しながらめぐる、うるおいあるまちを目指します。
事業内容	自然環境を保全していくため、多様な主体と協働し、市域の緑の骨格である崖線の緑地などの保全と再生を図ります。
根拠法令	都市緑地法、環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
条例	羽村市環境基本条例、羽村市樹林地及び樹木の保存に関する条例
要綱等	環境とみどりの基本計画

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	崖線面積10.42ha 樹林地管理活動27回	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	168H	2人	120H	2人	120H	2人	120H
主事・主任職	1人	328H	1人	256H	1人	256H	1人	256H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	157	159	159	159
人件費(係長職)	836	1,194	1,194	1,194
人件費(主任・主事職)	1,115	871	871	871
総事業費(合計)	2,108	2,224	2,224	2,224
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	125	120		
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,983	2,104	2,224	2,224
財源内訳(合計)	2,108	2,224	2,224	2,224

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市域のみどりの骨格である崖線を保全するため、崖線における保存樹林地の適正維持の推進、市民団体による樹林地管理活動の支援を行い、樹林地管理活動は42回実施した。  
また、市内の歴史あるみどりを保全するため指定した保存樹木29件(18名)に対する助成を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	159	16	175	169	96.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	120 H	2人	120 H
主事・主任職	1人	256 H	1人	256 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○崖線面積10.42ha ○樹林地管理活動27回		○崖線面積10.42ha ○樹林地管理活動42回

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

基本方針は「人、自然及び生物の調和、生態系保全」であるが、これを進めるためには市域の全ての主体が意識し、取り組まなければならないが、特に市域の緑の骨格である崖線の緑地などの保全と再生を図るためには、多様な主体と協働した実効施策が必要であり、市民と協働した保全活動である本事業は非常に重要である。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

環境活動団体は全国的に高齢化が進み、活動が困難になりつつあるが、市域においても同様であることから、環境活動団体を支援し、共に活動する若い力が必要である。このため、市民協働により、現状の活動水準の維持を図る方策を検討する。

【今後の取組方針】

市民協働による活動レベルを維持していくため、新たな事業者との連携や協働を模索し、より民間活力のある事業となるよう進めていく。